

## 用語解説

医療従事者: 医師, 看護師その他の医療関係者

B型肝炎: B型肝炎ウイルス(HBV)により引き起こされる肝疾患

C型肝炎: C型肝炎ウイルス(HCV)により引き起こされる肝疾患

HIV: 先天性免疫不全症候群(AIDS)を引き起こすウイルス

注射: 注射器を用いて薬液を体内投与する行為

IV: 静脈内

針: 薬液注射か体液を採取する際に用いる鋭利器材

注射器: 薬液を体内投与あるいは採取する際に用いる器材

伝播: 人から人にいわゆる感染症が広がる様子

バイアル: 薬剤を入れた小容器や瓶



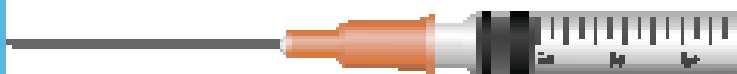
## 安全な注射処置の実務に関する連携

“安全な注射処置の実務に関する連携(Safe Injection Practices Coalition, SIPC)”は全米の医療環境に安全な注射処置に関する啓発を推進するため疾病制御予防センター(CDC)と医療関連団体のパートナーシップにより構成されています。SIPCでは安全な注射処置を推進するためのキャンペーンを開始しました。その目的は、公衆衛生的な教育的側面とキャンペーン自身の存在を認知してもらうことにあります。つまり、医療従事者と患者さんの両者に安全な注射処置の推進と働きかけ役を担って戴こうとするものです。

ご自身関わっている医療の現場で、  
本キャンペーン推進役を担って下さい。

## 安全な注射処置に関して

# 患者さんご自身が 知っておくべきこと



1本の注射針は,  
1本の注射器で,  
1度だけの使用.



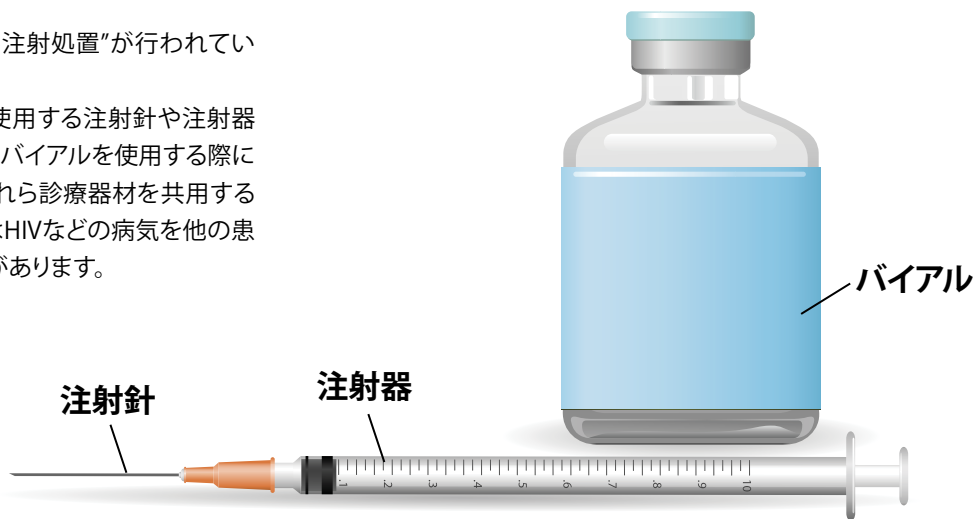
安全な注射処置への取り組み  
www.ONEandONLYcampaign.org

## ご存じでしたか？

ほとんどの医療従事者は、既に“安全な注射処置”を実践しています。

しかし稀に、“安全ではない注射処置”が行われている場合があります。

医療従事者が注射処置に使用する注射針や注射器などの医療器具や注射薬剤のバイアルを使用する際に1人以上の患者さんの間でこれら診療器材を共用するとB型肝炎、C型肝炎、あるいはHIVなどの病気を他の患者さんに伝播してしまう場合があります。



## 安全な注射処置に関して皆さんが知っておくべきことをご紹介します：

### 安全な注射処置とは何ですか？

ほとんどの医療従事者は、既に“安全な注射処置”を実践しています。安全な注射処置は医療従事者が注射処置を行う際に従うべき一連の医療行為のことです。たとえば、医療従事者が1人以上の患者さんに（たとえ注射針を交換したとしても）同じ注射器を再使用してはならないとかといったことです。覚えやすく言うと、“1本の注射針、1本の注射器、使うのは1度だけ”ということです。

### なぜ安全な注射処置がそんなに重要なのでしょうか？

安全な注射処置を実践していると、B型肝炎、C型肝炎、HIV等の感染症の伝播を防ぐことができます。

## 安全な注射処置を認識しなければいけないのは誰でしょうか？

注射処置あるいは点滴処置を受ける誰もが安全な注射処置を認識している必要があります。（医療従事者のような）注射や静脈輸液療法を実施する担当者は全員安全な注射処置を理解し実践することが必須です。

## 安全な注射処置に関して、患者の立場で情報を得るにはどうしたら良いでしょうか？

患者さんは以下の手順で“安全な注射処置の実施”について知ることができます：

- ご自身の担当の医療従事者に“安全な注射処置の実施”について直接お問い合わせ戴く。
- [www.oneandonlycampaign.org](http://www.oneandonlycampaign.org)から情報を入手する。

追加情報の入手先：[www.ONEandONLYcampaign.org](http://www.ONEandONLYcampaign.org)へ

日本語版訳：公立大学法人 横浜国立大学附属病院感染制御部 部長 満田年安

※安全な注射処置に関する情報は職業感染制御研究会HP(<http://jrgoicp.umin.ac.jp/>)から入手可能です。

